

教育課程特例校による特別の教育課程の編成の方針等について（英語活動の実施）

1 岡崎市における教育課程特例校指定の沿革

岡崎市では、英語で自分の思いや考えを伝え合うことができる「英語が話せるおかざきっ子」の育成を目指し、平成22年度より教育課程特例校の指定を受け、小学校第1学年から第6学年で「英語活動」を実施してきました。

平成31年度以降、学習指導要領の先行実施に伴い、第5、第6学年で外国語科の授業時間数が週2時間に増えたことを受け、教育課程特例校による特別の教育課程の編成を小学校第1学年から第4学年までに変更しました。

2 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取組

現在岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っています。

第1学年と第2学年では、「生活科」の時間を35（第1学年は34）時間を「英語活動」に充てています。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」35時間を「英語活動」に充てています。

【資料1】岡崎市の教育課程（基本案）

区 分	各 教 科										特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動 + 英語活動	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年における「英語活動」では、毎日10分の帯時間に岡崎市小学英語研究委員会の自作動画教材『OK English(約8分の動画教材)』を視聴することで、週1コマの授業時間としています。動画の内容は、英語の歌、フォニクス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともに動画を繰り返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

【資料2】OK English



3 本校の取組

細川小学校では、毎日13時35分から13時45分を「英語活動」の時間としています。児童は、DVDの視聴を通して、映像にあるシチュエーションから意味を考えたり、流れた音声に続いて繰り返し発音したりすることで英語の音声や基本的な表現を楽しみながら学習しています。

担任は児童が自然に英語を口ずさむことができるよう、DVDの音声に合わせて発音練習を促したり、英語の童謡を率先して歌ったりすることで、児童の意欲を高める支援をしています。また、学習したフレーズを使って、近くの席の友達と英語を使って会話をする機会を設け、児童が楽しく英語コミュニケーションをとることができるような活動を続けています。

今後の課題として、学年の発達段階に応じてアルファベットの文字を書く活動も取り入れていくことが必要であると考えています。